

育友会支部懇談会

全国65会場で開催—

初企画・入学センターと合同で「進学相談会」

大学とご父母(育友)の貴重なコミュニケーションの場である、育友会支部懇談会が、7月から9月にかけて、今年も全国68支部65会場で開催された。松田了会長が、長野・松本・千葉東・千葉西・山梨・札幌・苫小牧・生田キャンパス(神奈川東西合同)・神田キャンパス(東京ABC合同)に、日高義博理事長・学長が徳島と埼玉の各会場に出席したほか、教職員約300人が各会場で講演、個人面談などを担当した。また、初の企画として、育友会と入学センターとの合同企画で、懇談会後に、ご父母と受験生のための進学相談会を松本・広島・岡山など9会場で実施した(インタビューの文末のカッコ内はご子女の学部学年・性別)。

神奈川県東西支部懇談会(生田キャンパス10号館)



▲あいさつする松田了育友会会長



▲会場には250人以上のご父母が参集した(壇上は嶋根克己文学部教授)



▲在学生の案内でキャンパス見学(情報科学センター)



▲個別相談(左は綿貫理明ネットワーク情報学部教授)



▲1年次生のご父母を対象にした合同面談

和歌山支部



▲大学の近況を説明する佐藤猛常務理事

大阪支部



▲育友会本部から出席の神成邦興副会長(中央)と樋口淳文文学部教授

参加者の声

佐賀支部



▲あいさつする草野譲支部長



▲グループ面談(中央は庄菊博育友会主任)

中溝由起子さん

今回が2回目の参加ですが、就職活動や単位取得の疑問や不安を地元で解消できるのがこの会のメリットです。会員のコミュニケーションの場でもあり、同じような不安を抱えている父母同士が情報を交換する貴重な機会だと思います。

今年は就職活動についてお聞きしました。活動スケジュールや企業・学生の動向、「お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてほしい」といったアドバイスをいただきましたので、しっかり話したいと思っています。

(商4・男子)

松井和正さん・恵美さん

子供がどんな大学生生活を送っているのか知りたくて出席しました。懇談会を通して大学の様子を知ることができただけでなく、グループ面談で、2年次生の父母の方から聞いた経験談も参考になりました。先生方も気さくで、楽しい雰囲気の中、不安を解消できました。

息子は部活動で水球に励んでいるのですが、体育会の学生へのフォローや支援もしっかりしていると感じました。こういう会は地方の親にとって心強く、大学への信頼が強くなりました。ぜひ、来年も参加したいと思っています。

(法1・男子)

長崎支部



▲育友会活動について説明する床主任(法学部教授)



▲個別面談

大場龍秀さん・和美さん

地方出身者の親として、大学の雰囲気や方針を実際に聞くことのできる貴重な会だと思い、毎年出席しています。教職員の方と直接お話しするだけでなく、育友会制作のビデオで視覚的にも情報を得られるなど、参加して分かることが多く、「良い大学に通っている」という安心感を持ちました。3年次ということで、特に就職活動について伺いました。教職課程を履修していますので、教員採用の現状や、Uターン就職などお聞きし、満足しています。

(経済3・男子)

前田和徳さん・典子さん

1年次から毎年欠かさず出席しています。今年は秋から始まる就職活動についての話を伺いたくて参加しました。懇談会で今後のスケジュールを聞き、個人面談で活動への取り組み方やUターン就職についての現実的な情報を得ることができましたので、子供にアドバイスを送りたいと思います。

将来に向け、これからが大事な時期になるとは思いますが、残りの大学生活を楽しんでほしいです。

(経済3・男子)

埼玉支部



▲あいさつする日高理事長・学長(左)。右は円形になったの就職懇談(いずれも埼玉支部)

辛川睦雄さん

支部懇談会には昨年から出席し、支部の活動をお手伝いしています。今年は日高理事長・学長が見えるということもあってか、約160人の父母が出席しました。学長のお話は、大学の130年の歴史をひもとき、特に日本で初めて日本語による経済、法律の授業を行ったことなどに言及され、皆さんも関心を高めたようでした。

娘は2年次ですが将来は裁判所の調査官を目指しているようです。今日、就職活動体験談の中で、将来の目標をきちんと持つことが大事だと強調していましたが、娘も目標に向かって一心に勉学に励んでほしいと願っています。

(法2・女子)

飯山正樹さん・佳奈さん

毎日ソフトテニス部で練習に明け暮れているようです。先輩たちも良くしてくださるそうで大学に行くのが楽しみだと言っています。3人兄妹の長男なので、勉学も頑張って、早く将来の目標を見つけてもらいたいと思っています。

今日の支部懇談会には日高理事長・学長をはじめ、各学部の先生方が来られ、大学の授業、就職のお話を直接お聞きすることができ、とても安心しました。特にお2人の就職活動体験談は良かったです。将来の目標を持って社会に巣立っていく姿に、息子を重ね合わせていました。

(法1・男子)

徳島支部



▲参加者同士の情報交換も活発に(徳島支部)

新開詳弘さん・京子さん

大学が学生に対して、どのような思いで接してくれているのかを知りたいと、1年次から参加しています。娘は、「現代世界経済研究」の田中章喜ゼミで発展途上国に興味を持ち、現地でのさまざまな活動を通じて、視野を広げているようです。小さいころから、「自己実現」を図れるようにと常に話してきました。帰省するたびに、瞳を輝かせながら学んでいることを聞かせてくれ、成長ぶりを実感しています。

藤井薫支部長の発案で、今年から新入生のご父母の歓迎会を開きました。顔なじみができ、懇談会に参加しやすい雰囲気がつくれたと思います。

(経済3・女子)

田中宏和さん・澄子さん

「夫婦そろって子育てに参加」をモットーに、今までもPTA会長などを務め、子どもの教育には関心を持ってきました。懇談会では、日高理事長・学長の気さくな雰囲気を身近に感じ、感激しました。

準硬式野球部の投手として活動している息子は指導者を目指し、教職課程を履修しています。体育会活動と学業との両立は大変だと思いますが、高校のころから目標に向かって努力するタイプでしたので、「夢」を実現してほしいと願っています。「全日本大学準硬式野球選手権」(11面に関連記事)には、家族そろって応援に行きます。「野球」を通じて、家族がまとまることができ、感謝しています。

滋賀支部



▲ご夫婦での参加が目立った支部。1年次生のご父母の“不安”に上級生のご父母が答えている姿が印象的だった

育友会・入学センター共催「ご父母向け進学相談会」



▲入学センターの職員と育友会員が大学生生活の不安などの相談に応じた(左は高崎、右は甲府)



質の高い情報提供の会に向けて

育友会長・松田了

今年も支部懇談会を終えることができました。会員の皆様、運営に尽力してくださった各支部長をはじめ、支部役員の皆様にお礼申し上げます。

9支部の会場にうかがい、支部ごとに内容を工夫なさっている点を拝見しました。次年度は役員の方々の負担を少なくする意味で、育友会本部内につくった「支部懇談会委員会」で、大まかなガイドラインや、支部の規模に応じた設営サンプルなどを提示していこうと考えています。

就職活動体験談は、ぜひ在学生に聞いてほしい企画ですので、帰省している方への参加を呼びかけ、4年次生の父母の「体験談」も学生生活がどう進んでいくのか不安に思っている低学年次のご父母に参考にしていただけるよう取り入れたいと考えています。

先生方が熱心に対応してくださり、「面倒見のよさ」という専修大学の大きな財産を、育友会として大いにPRしていきたいと感じました。

大学と家庭とをつなぐ「パイプ役」としての役割から一歩進んで、会員の皆さんが求めている、より質の高い情報を提供できるよう、工夫を重ねてまいります。